



# 船の祭典2010 開催

～海に親しみ・船を愛する3ウィークス～

## — 港湾空港部 海洋環境・技術課 —

宇高航路開設100周年という大きな節目である今年、船や海の大切さ、魅力を再認識してもらおうと「船の祭典2010」が、同祭典実行委員会及び(社)香川県観光協会主催で、5月22日(土)から6月13日(日)まで開催されます。

祭典は、サンポート高松をメイン会場に、「海の神様」として全国から参拝客が集まる金刀比羅宮を中心とした琴平会場、塩飽諸島などの中西讃地区など各地で行われます。

太平洋の白鳥と呼ばれている帆船「日本丸」や、水深6,500メートルまで潜航が可能な潜水調査船「しんかい6500」などの一般公開をはじめ、シンポジウムや海洋冒険家・堀江謙一さんのトークショーなど、船や海にちなんだ様々な催しが予定されています。

また、高松港湾・空港整備事務所所属の海面清掃船兼油回収船「わしゅう」も6月6日(日)に、海洋環境整備事業を市民に理解してもらうことを目的に一般公開します。



帆船「日本丸」寄港  
**5/22(土)** セイルドリル(展帆・畳帆作業)  
**5/23(日)** 一般公開  
**5/25(火)** 出港・登艦礼(とうしょうれい)

5/21~25  
高松港



有人潜水調査船「しんかい6500」  
支援母船「よこすか」寄港  
**6/6(日)** 一般公開

6/5~7  
高松港



海洋冒険家 堀江謙一 特別講演会

**5/30(日)** 15:00~  
特別講演『未知への航海』  
(会場: 金刀比羅宮 神椿レストラン)

5/30  
金刀比羅宮

【出典:船の祭典2010実行委員会ホームページより】

このほかにも、宇高航路100周年を記念したメモリアルイベント、親子での造船所の見学やマリンスポーツ体験、洋上で地球の将来を考える「エコ体験スクール」など、船や海にまつわるイベントを多数開催します。

【主な行事】イベントの詳細につきましては、Webをご覧ください。<http://www.funenosaiten.jp>

- 5/22(土), 23(日) たかまつ春の食と文化のフェスタ 2010
- 5/26(水) 海洋技術フォーラム  
「海洋技術立国の基本戦略～E E Zが救う日本の未来～」(仮題)
- 6/ 5(土) 公開討論会 (瀬戸内水運と海の文化を支えた人達): 粟島会場
- 6/12(土) 赤灯台(せとしるべ) 見学会
- 6/13(日) 迄 船の祭典特別展『百花若冲繚乱』: 金刀比羅宮

四国地方整備局は「みなとを活かした地域づくり」を支援するために、このイベントを後援しています。皆様、ぜひ会場へ足をお運び下さい。

# 第1回「四国における地震津波対策アドバイザー会議」の開催について（速報）

## 1. 目的

四国の太平洋岸に影響を及ぼしたチリ沖地震津波（平成22年2月28日）に関し、四国地方整備局と四国各県、土木学会四国支部、四国内5大学等が連携して、東南海・南海地震を念頭においた地震津波対策の意見交換を行うため、「四国における地震津波対策アドバイザー会議」を設置し、その第1回会議を開催しました。

## 2. 日時・場所

平成22年5月10日（月）14:00～17:00  
四国地方整備局災害対策室

## 3. 会議構成（敬称略）

高知大学農学部教授	大年邦雄（座長）
徳島大学大学院教授	中野 晋
徳島大学名誉教授	村上仁士
徳島大学大学院教授	大角恒雄
香川大学工学部教授	白木 渡
香川大学工学部教授	末永慶寛
愛媛大学防災情報研究センター長	鳥居謙一
高知工科大学システム工学群教授	中田慎介（第1回はご欠席）
高知工業高等専門学校准教授	岡田将治
四国地方整備局	
徳島県、香川県、愛媛県、高知県（各危機管理部局）	



▲各組織からの対応状況の報告

## 4. 会議概要

- 1) 四国地方整備局 足立局長挨拶
- 2) 土木学会四国支部 四国地域緊急災害調査委員会 大年委員長挨拶
- 3) 座長選出
- 4) 各組織の取り組み状況
  - ①チリ沖地震津波発生時における各組織の対応状況
    - ・四国地方整備局
    - ・高知県
    - ・徳島県
  - ②チリ沖地震津波緊急調査概要（調査団長）
  - ③各組織の調査研究（予定）状況
    - ・高知大学
    - ・徳島大学
    - ・愛媛大学
    - ・香川大学
    - ・四国地方整備局からの情報提供（河川：河川遡上調査結果等）  
（港湾：須崎港検証結果等）
- 5) 意見交換
- 6) 四国地方整備局 小池企画部長挨拶



▲大年教授からの報告



▲意見交換